



2年生では、算数で「100cmをこえる長さ」の学習をしています。この日は、1mや30cmのものさしを使って、友達と協力し、1mくらいの長さを見付ける活動をしていました。また、1mの長さをもとに、いろいろなものの長さを予想してから、実際に測る活動をしていました。量感を養うためには、このような活動がとても大切です。予想が的中したときの子どもたちは、とてもうれしそうでした。反対に、予想とは、違った結果になった子どもたちは、少し残念そうでしたが、どちらも、子どもにとっては、大切な学びです。